



令和6年10月3日～4日

創立60周年記念 全国建設業労働災害防止大会 in 東京 開催!!

大会スローガン

「仲間の声で危険を防ごう、未来へつなぐ職場の安全」



令和6年10月3日、4日に「創立60周年記念全国建設業労働災害防止大会」が東京ビッグサイト、東京国際フォーラムにて行われました。東京での開催は創立50周年記念大会以来の10年ぶりの開催となりました。

初日の総合集会で国歌斉唱、労働災害によって亡くなられた方々への黙祷が捧げられ、その後、安全衛生活動に功労・功績があった方への表彰を行い、「安全の誓い」の宣言が行われました。

特別講演として、脳科学者の茂木健一郎氏による「ワーク・エンゲイジメントを高めるための脳のつくりかた—不安全な判断や行動をしないために—」と題した講演があり、脳と不安全行動について解説いただきました。

今大会のアトラクションは和太鼓音楽集団の「東京打撃団」により、和太鼓のパフォーマンスがありました。

2日目の専門部会では、6つの部会に分かれ、会員企業等の皆様が取り組まれた労働災害防止の好事例や成果等の発表がありました。今大会では新たに「60周年記念部会」が創設され、2024年問題をはじめとした、人手不足や職場環境改善等、建設業を取り巻く多様な問題を扱いました。

来場者数につきましては、総合集会、専門部会の2日間のべ7,200名の皆様にご参加いただきました。ありがとうございました。

今大会でも現地の他、オンデマンド配信を行い、直接会場へ来られない方々や、専門部会での同時間講演のものを後日視聴できるようになっております。会場にてご参加いただきました方々はオンデマンド配信の申し込みは不要ですが、オンデマンドのみご希望される方につきましては、参加券の購入とオンデマンド視聴の申し込みが必要となっております。

総 合 集 会

10:30 開 場

13:15 開 会

黙 禱

挨 拶 建設業労働災害防止協会 会長 今井 雅則

メッセージ 内閣総理大臣 石破 茂

来賓祝辞 厚生労働大臣 福岡 資麿

国土交通大臣 斉藤 鉄夫

東京都知事 小池 百合子

歓迎のことば

大会実行委員長 建設業労働災害防止協会東京支部長 松井 隆弘

13:50 安全衛生功労者に対する表彰・顕彰基金による顕彰

14:10 安全の誓い 大会副実行委員長 細谷 浩昭

14:15 講演「労働安全衛生行政の動向について」
厚生労働省 労働基準局 安全衛生部長 井内 努

14:35 アトラクション 和太鼓音楽集団 「東京打撃団」

15:20 特別講演「ワーク・エンゲイジメントを高めるための脳のつくりかた
ー不安全な判断や行動をしないためにー」
脳科学者 茂木 健一郎

専門部会

基調講演 講演者



「JAL 機長の『Safety Management』の実践」

日本航空(株) 運航訓練部 価値創造室 室長
ボーイング767型機機長(兼) 飛行教官
石川 宗氏
※オンデマンド配信なし

創立60周年記念部会 講演者



「2024年問題と労働災害防止」

(株)日経BP 総合研究所 社会インフララボ 上席研究員
野中 賢氏
※オンデマンド配信なし



「人を活かし、技に生きる ―技術継承と労働災害防止―」

(株)KMユナイテッド 代表取締役社長・Founder & CEO
(株)竹延 オーナー
竹延 幸雄氏
※オンデマンド配信あり



「職場環境改善とコミュニケーション」

日本製鉄(株) 安全防災推進部 部長
朱宮 徹氏
※オンデマンド配信なし

現地開催とオンデマンド配信の「ハイブリッド開催」

配信内容 総合集会・専門部会プログラム

配信期間 10月7日(月)～11月11日(月)

- オンデマンド配信を視聴するには、「ユーザー名」、「パスワード」が必要です。
- オンデマンド配信の視聴のみご希望の方は、参加券ご購入後、建災防本部ホームページよりオンライン参加の申込み手続きが必要です。
- 現地にご参加の方は、全国大会当日お渡しいたしました資料にて「ユーザー名」、「パスワード」でご利用ください。オンライン参加の申込みは不要です。
- オンライン視聴できない現地開催のみのプログラムがあります。
- 専門部会に参加された方は、継続学習制度(CPDS)のユニットを取得できますが、オンライン参加ではCPDSのユニットは付与されません。

挨拶

今井 雅則 建設業労働災害防止協会 会長

創立60周年記念全国建設業労働災害防止大会の開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。

はじめに、労働災害等でお亡くなりになられた方に心から哀悼の意を表するとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

「全国建設業労働災害防止大会」は、建設業労働災害防止協会が創立された昭和39年9月の翌年である昭和40年3月に第1回大会を開催して以来、会員各位をはじめ関係者の労働災害防止に寄せる熱意と協力の下に毎年連綿と開催してまいりました。今年もこうして東京都において創立60周年記念大会を開催することができましたことを、東京都、並びに関係各位に心より感謝申し上げる次第です。

また、本日は公務ご多忙のなか、厚生労働省、国土交通省、東京都の行政当局からご臨席を賜りまして、重ねて心より感謝申し上げます。

本年の創立60周年記念全国建設業労働災害防止大会は、本日と明日の2日間、「仲間の声で危険を防ごう、未来へつなぐ職場の安全」をスローガンに掲げ、本日の総合集会をここ「東京ビッグサイト」で、明日の専門部会を「東京国際フォーラム」で開催いたします。

なお、現地参加できない方や、6つの専門部会が同時進行するため当日視聴できなかった他部会の発表も視聴し情報収集したいという方のために、本日の総合集会、2日目の専門部会について10月7日から11月11日までオンデマンド配信を行いますので、こちらもご利用いただきますようお願い申し上げます。

さて、建設業は、地域のインフラ整備や経済活動を支える施設づくりなど夢のある産業です。また、災害時には復旧復興工事の担い手として、国民生活、社会経済を支えるという、わが国にとってなくてはならない重要な役割を担っております。

しかしながら、近年、技術者、技能者の慢性的な不足、若手入職者の減少及び高齢化の進展など、建設業を取り巻く環境は厳しく、働き方改革の推進や生涯収入の向上に向けた取り組みなど様々な活動が行われています。

一方、建設業における労働災害は関係各位の地道なご努力により、長期的には減少傾向にあり、労働災害による年間の死亡者は、当協会が設立された60年前と比べますと、約10分の1と大幅に減少しておりますが、建設業の死亡災害は全産業の約3割を占め、依然として全産業の中で一番多い業種であることには変わりありません。建設業が憧れの産業として、今後も安定的に発展するためには、建設工事に従事する全ての方々が安全で安心して働くことのできる魅力ある職場環境づくりが非常に重要となってきます。

こうした現状を踏まえ、建災防では令和5年度から令和9年度を計画期間とする「第9次建設業労働災害防止5か年計画」を策定しました。

この第9次計画の目標の達成を目指し、建災防におきましては、リスクアセスメントの確実な実施の推進、建設業労働安全衛生マネジメントシステム「コスモス」の導入促進、メンタルヘルス対策や化学物質管理への支援、さらに各種安全衛生教育などの活動に積極的に取り組んでおります。

なかでも建災防の重要な活動の一つである、この全国建設業労働災害防止大会は、会員をはじめ多くの関係者が一堂に会し、共通認識を分かち合うことで、労働災害防止活動の大切さを再確認し、災害ゼロを達成するために尽力することを心新たに誓うなど、安全衛生意識の高揚を図る場として開催しております。また、各種講演会や研究発表、安全衛生保護具等展示会において、行政の動向や安全衛生管理ノウハウ・好事例等の最新情報を収集し実践に役立てることも目的としております。

会員各位をはじめ、関係者の皆様におかれましても、本大会を契機として今後もより一層の労働災害防止にご尽力いただきますとともに、憧れの産業化への取り組みを一層推進されますようお願い申し上げます。

最後に、本大会についてご支援・ご協力を賜りました関係行政機関並びに大会の準備・運営にご尽力いただいた建災防東京支部の松井支部長をはじめ、関係各位に対し深甚なる感謝を申し上げ、私のご挨拶とさせていただきます。



メッセージ

石破 茂 内閣総理大臣

このたび、創立60周年記念全国建設業労働災害防止大会が開催されることを心よりお慶び申し上げます。

本大会の主催者である建設業労働災害防止協会は1964年の設立以来、建設業の健全な発展に資するために、積極的に労働災害防止活動に取り組まれており、その長年のご尽力に対して改めて心より深く敬意を表します。

また、我が国の建設業の労働災害防止活動に精力的に取り組んでこられたご功績を称えられ、本日、栄えある表彰を受賞される皆さまに対して心からお祝い申し上げます。

近年、自然災害が激甚化、頻発化しており、能登地域を襲った震災や豪雨をはじめ、各地で深刻な被害が多発しております。南海トラフ巨大地震や首都直下地震などの大規模地震も切迫しています。国民の命と暮らしを守ることは国の重要な責務であり、政府として、防災・減災・国土強靱化に向けた対策を進めています。建設業は、防災・減災・国土強靱化をはじめとする社会資本整備の担い手であると同時に、災害時には真っ先に現場に駆け付け、応急・復旧・復興を担う地域の守り手です。

国民生活や、社会経済になくてはならない存在である建設業界が、今後ともその役割を果たしていくためには、官民共同で、建設業に携わる方々が、安全に、安心して働ける職場環境を形成していくとともに、次世代を担う若者達が将来に希望を持てる憧れの職業にしていかなければなりません。このため、政府としては、公共工事設計、労務単価について、物価上昇を上回る前年度比プラス5.9%の引き上げを実施し、さらに本年6月に成立した第三次担い手3法の施行に取り組むなど、現場で働く方々の賃上げや、働き方改革に重点的に取り組んでいます。

我が国における建設業の労働災害は、長期的に減少傾向にあり、これは貴協会が労働災害を防止するための安全衛生教育の実施や、キャンペーンの展開など、長年にわたる取組の効果が確実に表れてきているものと思います。

しかしながら、労働災害によって尊い人命がまだ失われている状況にあることも事実であり、労働災害の撲滅を目指し、今後もなお、一層の取組をお願いいたします。

結びに、今回の創立60周年記念全国建設業労働災害防止大会の盛会と貴協会の益々のご発展、会員各位のご健勝、ご活躍を祈願いたしまして、お祝いの言葉といたします。

内閣総理大臣

石破 茂

祝 辞

福岡 資麿 厚生労働大臣（田中 誠二 厚生労働審議官名代）

創立60周年記念全国建設業労働災害防止大会の開催に当たり、ご挨拶申し上げます。

建設業労働災害防止協会が創立60周年を迎え、本日、この記念すべき大会が、多くの皆さまのご参加を得て盛大に開催されますことを、まずもってお慶び申し上げます。

また、長年にわたり我が国の労働災害防止活動に精力的に取り組んでこられたご功績により、栄えある表彰を受けられる皆さまには、心よりお祝いを申し上げます。

貴協会が設立された昭和39年当時は、我が国が高度経済成長を遂げる一方で、企業の安全衛生管理が行き届かない面が生じ、建設業では、年間2,405人の方々が労働災害でお亡くなりになっていました。

このような中、貴協会におかれては、建設業における自主的な労働災害防止活動を牽引され、永年にわたり社会的使命を果たしてこられました。

こうした先人のご努力と、今井会長をはじめ、会員の皆さまの活動の成果もあって、令和5年の死亡者数は、貴協会設立当時と比べ約十分の一に減少し、過去最少の223人となりました。

労働災害防止にご尽力されてきた貴協会に対しまして、改めて深く敬意を表するものであります。

しかし、労働災害による死亡者数を業種別で見ると、依然として建設業が最も多く、うち事故の型別では「墜落・転落」によるものが最多となっています。

このような状況も踏まえ、近年、

- ・手すり等の設置義務が課されていない一側足場の使用範囲を明確化し、原則として本足場を使用することとしたほか、
- ・化学物質管理や石綿使用建築物の解体に関する各種規制の強化、
- ・職場における熱中症予防対策として「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」の実施など、

様々な災害防止対策を講じてまいりました。

さらに、現在、労働政策審議会の場において、建設業の一人親方を含む個人事業者等に対する安全衛生対策の強化や、機械の製造許可・検査制度のあり方などについて議論しています。建設業にも大きく関係する制度見直しの議論であり、こうした動向も踏まえつつ、より一層安全衛生対策に取り組んでいただきたいと思います。

本年の大会スローガンは、「仲間の声で危険を防ごう、未来へつなぐ職場の安全」です。

建設業界においては、働く方の高齢化や担い手不足といった困難な課題に直面していると認識しておりますが、そのような状況だからこそ、本年4月から適用された時間外労働の上限規制への対応や、働く方の安全と健康を守る取組が重要です。

こうした取組が貴重な担い手の確保・育成・定着へつながっていくものと確信しております。

結びになりますが、本大会の運営にご尽力いただきました建設業労働災害防止協会を始め、関係者の皆さまに改めて敬意を示しますとともに、皆さまの益々のご活躍とご健勝を祈念いたしまして、私の挨拶といたします。



斉藤 鉄夫 国土交通大臣（平田 研 不動産・建設経済局長名代）

創立60周年記念全国建設業労働災害防止大会の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

本日ご出席の皆さまには、平素より国土交通行政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

はじめに、本大会の主催者である建設業労働災害防止協会が創立60周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。建設業労働災害防止協会は建設業における労働災害の防止に積極的に取り組まれており、60年という長きにわたるご尽力に対して、改めて深く敬意を表します。

また、労働災害防止活動に顕著な功労・功績のあった安全衛生功労者として表彰や顕彰を受けられる皆さまに対して、感謝申し上げますとともに、心よりお祝い申し上げます。

建設業は、国民生活や経済活動を支える「社会資本整備の担い手」であると同時に、災害対応の最前線を担う「地域の守り手」として、特に災害の多いわが国において重要な役割を果たしている基幹産業です。

本年1月には、令和6年能登半島地震により、道路や上下水道施設を中心とするインフラ、多くの住家などに甚大な被害が発生し、9月には、復旧・復興の途上にある中での豪雨災害が生じました。このほかにも、令和6年台風第10号など、本年も多くの災害が発生しているところです。建設業に従事される皆さまにおかれましては、災害対応・復旧・復興に当たり、連日最前線でご対応いただいていることに深く感謝申し上げます。今後も国土交通省として復旧・復興に全力で取り組んでまいります、「地域の守り手」である皆さまにおかれましても引き続きのお力添えをお願いしたいと思います。

人々が安心できる暮らしを作り上げる役割を建設業が果たしていく上で、建設業に携わる皆さまにとって安全な現場を確保し、労働災害のない安心して働くことができる環境を築いていくことが欠かせません。

建設業における令和5年度の死亡災害発生件数は223人となり、過去最少を記録しましたが、それでもなお、未だ毎年200人を超える方々が労働災害により亡くなっていることを真摯に受け止める必要があります。

国土交通省では、昨年6月に改訂した「建設工事従事者の安全及び健康の確保に関する基本的な計画」に基づき、安全衛生経費が下請負人まで確実に行き渡るための取り組みを含めて、建設工事に携わる方々の安全の確保に向けた取り組みを着実に進めてまいります。

本年4月には新たな時間外労働の上限規制が開始されたところですが、建設業が将来にわたって社会的使命を果たし、持続的に発展していくためには、「処遇改善」や「働き方改革」、「生産性向上」を通じて、現場で活躍しておられる皆さまがやりがいと誇りを持ち、次代を担う若者から選ばれる魅力的な産業としていくことが重要です。

例えば、公共工事設計労務単価は12年連続で上昇しており、令和6年3月の改訂は、物価上昇を超える、過去10年で最大の引き上げとなりました。また、週休2日制の定着・拡大などを進めているところです。

加えて本年6月には、第三次・担い手3法が成立いたしました。この法律によって、適正な労務費の確保と行き渡りを図り、資材高騰分の転嫁対策を強化することで、技能者の処遇改善に取り組む仕組みを設けることとしています。また、適正な工期設定対策による働き方改革や、ICT活用などによる生産性の向上を図ってまいります。

建設業が「給与が良く、休暇が取れ、希望が持てる」、そして「かつこいい」、いわゆる「新4K」といわれる魅力的な産業となるように、官民一体となって取り組んでまいります。

結びに、本大会の成功と、関係各位のますますのご発展とご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



小池 百合子 東京都知事 (谷崎 馨一 東京都技監都市整備局長兼務名代)

60年という長きにわたり、労働災害の防止に向けた活動を推進し、労働安全衛生の水準の向上に寄与してこられたご尽力に深く敬意と感謝の意を表します。

また、本日、労働災害防止に貢献されたご功績により、表彰・顕彰を受けられる皆さまにお祝いを申し上げます。

本日お集まりの建設業関係者の皆さまは、都市のインフラ整備やまちづくり、そして災害時の対応など地域の守り手として重要な役割を担われております。本年1月、能登半島地震が発生いたしました。また、先日の能登地方での大雨で被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げます。気候危機などの影響もあり、風水害も頻発化、激甚化してきました。こうした中で、都民・国民の安全・安心を担う皆さまの活動と、建設業に寄せられる期待も高まっております。東京都は風水害や地震、噴火などの危機に備え、ハード、ソフト両面から「TOKYO 強靱化プロジェクト」を展開しております。昨年末には、この内容をアップグレードし、さらなる対策の強化を図っております。また、建設工事に従事する方々の安全や健康の確保の推進に関する計画の改定も進めております。

本年4月からは時間外労働規制が適用されました。働き方改革や担い手確保がこれまで以上に求められています。建設業が将来にわたり、その重要な役割を果たしていくために、誰もが安心して働ける環境を整えることが不可欠でございます。

全国の建設業関係者の皆さまが一堂に会し、労働安全衛生に係る知識の共有と意識の高揚に取り組まれることは心強い限りでございます。大会が実り多いものとなり、その成果が十二分に発揮されますことをご期待申し上げます。

建設業労働災害防止協会の一層のご発展と、ご参加の皆さまのますますのご健勝、ご活躍を祈願いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



歓迎のことば

松井 隆弘 大会実行委員長・東京支部長

建災防東京支部を代表しまして、「歓迎のことば」を申し上げます。

創立60周年記念全国建設業労働災害防止大会が、全国各地より多くの方々の参集を賜り、ここに盛大に開催できますことは、大変光栄であり、心より歓迎申し上げます。

また、本大会に至るまでの間、各行政機関並びに関係者の皆さま方には多大なるご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。



第1回の全国建設業労働災害防止大会は建災防創立の翌年1965年、昭和40年に「東条会館」で開催されました。その後、第18回大会からは東京以外でも開催されるようになりました。東京では、創立40周年記念大会以降は5年に1度、50周年記念大会以降は、10年に一度開催されることとしており、今回が33回目となります。

東京には東京駅舎、東京タワーなど魅力ある建造物も数多く、また各地で再開発工事が続いており、最新の技術を駆使した建物もあります。食の面では、昔懐かしい料理から、世界各国の料理まで、様々な美味しい食べ物が揃っております。

是非皆さまも楽しんで帰っていただければと思います。

最後に、この大会が、建設業における安全衛生水準をより一層向上させるとともに、皆さまにとって実りある大会になることを祈念し「歓迎のことば」といたします。2日間、どうぞよろしくお願い申し上げます。

安全衛生表彰・顕彰基金による顕彰

■ 安全衛生功労者に対する表彰

建設業における安全衛生活動に長年尽力され、功労・功績のありました方々への個人賞、ならびに優秀な安全衛生成績をあげられた事業場等に対する優良賞に関する「安全衛生表彰」が行われ、各賞代表者に対し、今井会長より表彰状が授与されました。

■ 顕彰基金による顕彰

創立20周年記念事業の一環として、昭和58年から当協会に顕彰基金を設置しています。建設業の安全・衛生に係る発明、研究など労働災害防止に顕著な功績のあった方に対して顕彰が行われ、今井会長より顕彰状が授与されました。

1. 安全衛生表彰

個人賞

(1) 功労賞 (計107名)

大津 正裕氏
北野建設(株) 東京本社
[東京]



②安全衛生推進者 (計74名)

大坂 勇氏
大坂建設(株)
[茨城]



(2) 功績賞

①委員会委員等 (計48名)

渡辺 憲一氏
(株)渡辺工務店
[栃木]



渡辺 弘一氏
(株)白井組
[神奈川]



③所長 (計49名)

狩野 健一氏
佐田建設(株)
[群馬]



④職長 (計47名)

松永 敬介氏
(有)匠電設
[埼玉]



優良賞

①会社 (計124社) (株)笹原工務店 [千葉]



②工事現場 (計109現場)

植木・ダイエープロビス建設工事共同企業体 長岡市大手通坂之上町地区再開発施設建築物(C街区)建設工事
[新潟]



③団 体

竹中土木東京竹栄会 [東京]



2. 顕彰基金による顕彰

吊荷直下の人をAIで検知して人払いする警報装置「AIスコープ」

(株)竹中工務店 大阪本店 西日本機材センター 開発グループ 谷 竜征氏



第四の安全保護具® 耐圧グローブ「PRESS GUARD」(プレスガード)の開発

四国電力(株) (株)ダイコープロダクト 四変テック(株)



安全の誓い

建設業界は近年、2024年問題対応をはじめとする働き方改革の推進、建設従事者の高齢化への対応、担い手の確保・育成などさまざまな課題に直面しておりますが、私たちはどのような状況においても、人命尊重の基本理念の下、働く者一人ひとりの安全と健康の確保を第一に不断の努力を続けてまいりました。このような地道な努力を継続してきたことにより、建設業における労働災害は長期的には減少傾向となっており、令和5年の建設業における死亡災害は223人と、前年より58人、20.6%減少するとともに休業4日以上死傷災害についても14,414人と、前年より125人、0.9%の減少となりました。



大会副実行委員長 細谷 浩昭

しかしながら、依然として全産業における死亡者数の約3割を建設業が占めており、高い状況が続いています。この現実を真摯に受け止め、今後とも関係者が一丸となり労働災害防止対策を全力で推進するとともに、働き方改革による職場環境の改善、DXによる安全性・生産性の向上を進め、建設業を将来の担い手となる若者、女性や高齢の方々が安全で安心して活躍できる魅力ある産業にしなければなりません。

令和6年度は建災防が掲げる「第9次建設業労働災害防止5か年計画」の2年目となります。関係者が一体となって、一人の被災者も出さないという人命尊重の基本理念の実現に向け、死傷災害の減少および60歳以上の死傷年千人率を減少に転じさせることを目指すことが重要です。本日の全国大会を契機として、一人ひとりが安全衛生意識の向上を図り、建設業に従事する方々が労働災害に遭うことがないように

- 一 店社・作業所の安全衛生管理体制の確立および「墜落・転落災害撲滅キャンペーン」等をはじめとする三大災害防止対策の実施
- 一 リスクアセスメントの確実な実施と建設業労働安全衛生マネジメントシステム（コスモス）の導入促進
- 一 建設現場におけるメンタルヘルス対策の定着と「新ヒヤリハット報告」の普及促進
- 一 健康確保対策や高齢労働者の労働災害防止対策の推進

を重点施策として、安全衛生活動に積極的に取り組み、建設業に従事するすべての世代が希望や誇りを持ち、家族や社会のために精一杯働くことのできる安全で安心な魅力ある職場環境を実現することを誓います。

安全衛生保護具・測定機器・安全標識等展示会

全国大会開催期間中、建設業労働災害防止協進会による「安全衛生保護具・測定機器・安全標識等展示会」が同時開催されました。最新の安全衛生保護具や測定機器など、カタログなどでしか目にする事ができなかった商品を実際に手に取り、メーカー等から直接説明を聞ける機会ということもあり活気にあふれていました。



専門部会

建築部会

発表① 現場安全管理におけるICT活用



松井建設(株)
建設本部 ICT推進室

中井 健太郎氏

発表② BIMとアルバトロスを使い、特殊形状建築物における足場の計画・積算・施工での省力化・省人化をはかる



朝日機材(株) 本店
BIM計画部

伊藤 実希夫氏

発表③ 地下躯体工事の作業環境改善



前田建設工業(株) 東京建築支店
晴海再開発タワー棟作業所

作業所長 林 昌記氏

発表④ 無足場工法に対応したサッシの実現



(株)LIXIL ビル事業本部
ビル技術統括部 工事監理部
ビル中四国・九州エンジニアリングセンター
九州施工管理チーム

担当 國廣 秀斗氏

発表⑤ 複雑形状大屋根鉄骨工事における生産性向上と災害発生リスク低減への取り組み



(株)竹中工務店 神戸支店

チーフエキスパート 山室 広樹氏

発表⑥ 若手社員に教えて伝える 安全PDCA



清水建設(株) 四国支店
建築部

統括工事長 中川 智也氏

発表⑦ 大規模半導体生産工場における安全衛生管理の取組み



(株)大林組 九州支店

SUMCOJV工事事務所 所長 藤本 憲吾氏

発表⑧ 新幹線駅舎新築工事における施工計画



(株)奥村組 西日本支社
関西建築第1部
JRJT小松駅JV工事所

所長 勝田 真美氏

発表⑨ DXによるスマート安全管理について



西松建設(株) 滋賀湖南出張所

所長 森田 正登氏

発表⑩ Risk Aversionまで深化させたRisk Assessmentの取組み



東急建設(株) 東日本建築支店
第一建築部

作業所長 竹村 圭史氏

発表⑪ 狭小敷地工事における安全・衛生への取組み



戸田建設(株) 東京支店
建築工事3部工事3室

作業所長 横山 純一氏

発表⑫ 三現主義とデジタルのベストミックスの追求



清水建設(株) 横浜支店
安全環境部

部長 吉田 健一氏

発表⑬ 世界貿易センタービルディング 鹿島スラッシュカット工法



鹿島建設(株) 東京建築支店
世界貿易センタービルディング
既存本館・別館解体工事

工事主任 澤田 紗代子氏

発表⑭ ICTを活用した施工管理の生産性向上と安全確保



(株)竹中工務店 東京本店
日立造船・竹中特定建設工事共同企業体
江戸川清掃工場建替工事作業所
建築プロジェクトマネージャ 大下 知英氏

土木部会

発表① 通年施工下、河川内橋脚基礎工事における安心・安全な施工管理



清水建設(株) 関西支店
土木部
豊崎換気所・開削トンネル建設所
建設所長 山中 利明氏

発表② 水再生センターの水処理施設増設工事における安全対策



飛鳥建設(株)
戸塚水処理作業所
監理技術者 澤田 邦博氏

発表③ ダム施工現場の重機災害防止に向けた安全の取り組み



(株)熊谷組 九州支店
大切畑ダム作業所
竹下 嘉人氏

発表④ 第二海堡におけるICT技術を使用した安全対策



東洋建設(株) 関東支店
東京湾口作業所
監理技術者 坂本 一真氏

発表⑤ 山岳トンネル工事における切羽肌落ち災害防止対策



西松建設(株) 九州支社
松浦1号トンネル出張所
工事主任 松崎 史明氏

発表⑥ トンネル工事の安全性向上と労働環境改善を目指して



大成建設(株) 北信越支店
朝日温海11号トンネル作業所
作業所長 板垣 賢氏

発表⑦ 訓練で技術を磨き保線屋の使命を果たす



名工建設(株) 軌道本部
静岡軌道部 浜松軌道事務所
軌道事務所長 山本 理志氏

発表⑧ 深山トンネル作業所の安全管理に思うこと



三井住友建設(株) 大阪支店
和歌山営業所
営業所長 栗本 州浩氏

発表⑨ 高速道路リニューアル工事における安全管理について



(株)大林組 東北支店
東北道宮城松川橋JV工事事務所
主任 佐竹 基治氏

発表⑩ 極狭小断面トンネルをNATM工法レール方式で5km掘削、安全への足跡



前田建設工業(株) 中部支店
土木営業部 営業推進第一グループ
主幹 小野 雅敏氏

発表⑪ 鉄道高架工事(直上工法)の安全への取り組み方



(株)奥村組 西日本支社
関西土木第1部 阪急淡路JV工事事務所
工事係 家弓 翼氏

発表⑫ ゼネコンの発想で考えた重機に着脱可能な360° 3Dモニター



鉄建建設(株) 東京鉄道支店
鉄道安全部長 布施 尚行氏

発表⑬ 都市部交差点直上での高速道路撤去工事における安全対策



大成建設(株) 関西支店
喜連瓜破橋大規模更新工事作業所
作業所長 島田 哲治氏

講話 建設業を取り巻く現状と国土交通省の取り組み



国土交通省
不動産・建設経済局 建設振興課
専門工事業・建設関連業振興室長
松田 慧吾氏

安全衛生教育部会

発表① 太陽のように明るい建設業を目指して！



建設業労働災害防止協会
山梨県支部 オレンジ隊
隊長 志村 美紀氏
副隊長 成瀬 可奈子氏
副隊長 厚芝 莉沙氏

発表② 空港リノベーション工事における航空保安事故防止対策



(株)大林組 大阪本店
関空T1工事事務所
副所長 勇崎 俊宏氏

発表③ 技能工の社員登用・育成と多能工化による生産性の向上



博多装工(株)
代表取締役社長 中園 政夫氏

発表④ 次代へつなぐルールと歴史、階層別安全衛生教育の誕生



中林建設(株)
安全・品質管理室
室長 岩崎 亘氏

発表⑤ 大空間アリーナ建設における安全対策について



清水建設(株) 千葉支店
建築部
工事長 塩田 克彦氏

発表⑥ 整理整頓の徹底による災害ゼロを目指す安全衛生管理



前田建設工業(株) 東京建築支店
十条西口再開発作業所
統括所長 石山 勝俊氏

発表⑦ 建設現場での転倒事故ゼロを目指して



東急建設(株)
災害防止協力会 木造建築支部
支部長 峯岸 政夫氏
(峯岸工業(株))

発表⑧ 現場の工夫と建設ICTの活用で合理化と安全管理を推進した事例



鹿島建設(株) 関西支店
NITE第二NLAB工事事務所
現場所長 森脇 徹氏

発表⑨ コクドオリジナル安全対策



日本国土開発(株)
安全品質環境本部 安全品質環境部
植野 梓氏

発表⑩ ネットワーク配信型VR安全教育



(株)竹中工務店 東京本店
安全環境部 安全グループ
安全担当 斉藤 亮氏

発表⑪ 外国人建設作業員の日本語教育



大成建設(株) 東京支店
建築部 安全環境推進室
課長 小田島 仁氏

発表⑫ 「新ヒヤリハット報告」の導入に向けて



東急建設(株)
安全環境本部 安全部
部長 田中 克志氏

発表⑬ 大規模作業所における協力会社・職長会との協働について



戸田建設(株) 東京支店
建築工事3部工事1室
作業所長 庄司 大輔氏

講話 労働災害防止に向けた最近の厚生労働省の取り組み



厚生労働省 労働基準局
安全衛生部 安全課
建設安全対策室長 中野 響氏

低層住宅部会

発表① VR体験による安全意識の向上



大和ハウス工業(株)
技術統括本部 安全部
係長 阿部 充氏

発表② 快適・働きやすい現場環境の取組みについて



大阪住宅安全衛生協議会
現場環境改善部会 副部会長
ベクセス(株) 西日本推進部
部長 佐々木 祥訓氏

発表③ 高齢熟練職人さんの力を発揮できる環境、意識作り



中野土建(株)
建築部
工事所長 鈴木 伸幸氏

発表④ 事業主・建設技能者のDXへのアプローチ



大和ハウス工業西関東地区協力会
東京西支部 安全衛生環境部会長
㈱義沢興業 代表取締役社長 義澤 浩一氏

大和ハウス工業(株) 東京本社
技術統括本部 建設DX推進部
DX企画室 施工グループ
グループ長 川勝 弘太朗氏

発表⑤ スマホで安全衛生教育



大和ハウス協会連合会
安全衛生環境部会 部会長
㈱藤政工業 代表取締役 藤代 政宗氏
㈱日本コンサルタントグループ
メディアセンター
プロデューサー 伊藤 洋也氏

発表⑥ お客様目線で見ると住宅系現場監督の働き方について



全国低層住宅労務安全協議会
じゅうたく小町部会
浅岡 みづき氏
(積水ハウス(株))

発表⑦ プレハブ建築マイスター制度について



一般社団法人プレハブ建築協会
住宅部会 労務安全分科会
代表理事 奥山 峰晴氏

発表⑧ 能登半島地震の復興事業における安全対策



大和ハウス工業(株) 本社
技術統括本部 安全部
西日本地区(北関東)
吉敷 洋志氏

発表⑨ ICT活用によるSDS(セーフティデータシート)ならびにリスクアセスメントの業務負担軽減



大和ハウス工業(株)
技術統括本部 建設DX推進部
DX運営室 施工第1グループ
主任 西村 祥平氏

発表⑩ 足場先行工法に適したポケット型クサビ足場の進化



(株)東京BK足場
取締役副社長 栗山 拓人氏

発表⑪ 建設現場の海外人材の活躍



(株)ダイサン
安全管理部
部長 安西 清次氏

発表⑫ 親綱使用における転倒時支柱挙動検証実験



全国低層住宅労務安全協議会
環境・安全対策部会
顧問 大江 任氏
安全パトロール部会
副部会長 白水 匡氏

発表⑬ 疑似体験安全動画の活用による類似災害再発防止活動について



積水ハウス(株)
施工DX推進グループ
エグゼクティブ・スペシャリスト
戸田 賢一氏

発表⑭ 熱中症対策における効果的なプレクーリングについて



大和ハウス工業(株) 本社
技術統括本部 安全部 連携グループ
井上 葉慈氏

創立60周年記念部会

講演① 2024年問題と労働災害防止



(株)日経BP
総合研究所 社会インフララボ
上席研究員 野中 賢氏

発表① 大規模作業所における最新デジタル技術とアナログの融合による安全管理の進化への挑戦



(株)竹中工務店 広島支店
作業所
作業所長 藤井 秀治氏

発表② 法定時間外労働時間削減に向けて



鹿島建設(株) 関西支店
住友金属鉱山播磨工事事務所
課長代理 芦谷 直哉氏

講演② 人を活かし、技に生きる



(株)KMユナイテッド
代表取締役社長・Founder&CEO
(株)竹延 オーナー
竹延 幸雄氏

発表③ 急速な世代交代に対応するための効果的な人材育成戦略



鉄建建設(株)
安全推進室
副室長 瀧渕 吉則氏

発表④ いつまでも元気に働くために



清水建設(株)
安全環境本部 安全部
長谷川 晶子氏

基調講演 JAL機長の『Safety Management』の実践



日本航空(株)
運航訓練部 価値創造室
室長
ボーイング767型機機長(兼) 飛行教官
石川 宗氏

発表⑤ 心理学・教育学的アプローチによる安全管理システムのニューモデル



戸田建設(株) 本社
コーポレート本部
安全管理統轄部 安全管理2部
課長代理 渡辺 裕司氏



戸田建設(株) 名古屋支店
パイロットインキミよし工場事務棟新築工事 建築工事部工事3室
作業所長 竹内 昌史氏

発表⑥ 新ヒヤリハット報告の分析がもたらす新たな安全活動



建設業労働災害防止協会 山梨県支部
部長 山本 憲一氏

講演③ 職場環境改善とコミュニケーション



日本製鉄(株)
安全防災推進部
部長 朱宮 徹氏

発表⑦ 情報発信地『渋谷』から「人がつくる。人でつくる。」の取り組み



戸田建設(株) 東京支店
建築工事1部工事3室
作業所長 不破 卓見氏

発表⑧ 施工現場におけるデジタル技術を用いたコミュニケーションの活性化



清水建設(株) 土木東京支店
新東名川西高松建設所
工事長 檜 一茂氏

コスモス部会

発表① 当社の安全衛生マネジメントシステム運用の課題



(株)熊谷組
安全本部 安全推進部
担当部長 八木 幹夫氏

発表② 持続可能なシステム運用に向けて



五洋建設(株)
安全品質環境本部
担当部長 中野 雅昭氏

発表③ 化学物質リスクアセスメントの深化



東急建設(株)
安全環境本部 安全部
安全専門部長 鈴木 祐一氏
長田 貴則氏

発表④ COHSMS ガイドラインに準拠した安全衛生活動



(株)安藤・間 名古屋支店
安全環境部
部長 蔭西 佳典氏

発表⑤ OSK-COHSMS のあゆみ



オーク設備工業(株)
安全環境部
担当部長 佐々木 繁雄氏

発表⑥ わが社の安全衛生の取り組み



(株)三浦工務店
安全管理部
安全管理部長 酒井 利久氏

発表⑦ コスモス導入による安全管理水準の向上と 店社実施事項の明確化



戸田ビルパートナーズ(株) 本社
安全部
安全課長 善光 安次氏

令和7年度 第62回全国建設業労働災害防止大会 研究論文募集中

当協会では、令和7年10月2日(木)、3日(金)に兵庫県神戸市のワールド記念ホール、神戸国際展示場にて開催する「第62回全国建設業労働災害防止大会」に向けて、研究論文を募集します。

採用となった論文については、「第62回全国建設業労働災害防止大会研究論文集」(ダウンロード形式)として、当協会ホームページに掲載し、大会参加者へ提供します。

また、採用論文の中からさらに各専門部会委員会の審査で選ばれたものについては、大会2日目の各専門部会会場にて、壇上発表の機会を設けています。

応募に関する詳細は、当協会ホームページをご覧ください。

お問い合わせ先

建設業労働災害防止協会 業務部 広報課 〒108-0014 東京都港区芝5-35-2 安全衛生総合会館7階
TEL: 03-3453-8202 ホームページ: <https://www.kensaibou.or.jp/>



創立60周年記念全国大会
資料集